

OFFICE BANK サポート技術情報

更新日：2023/08/23

データ照合の設定方法

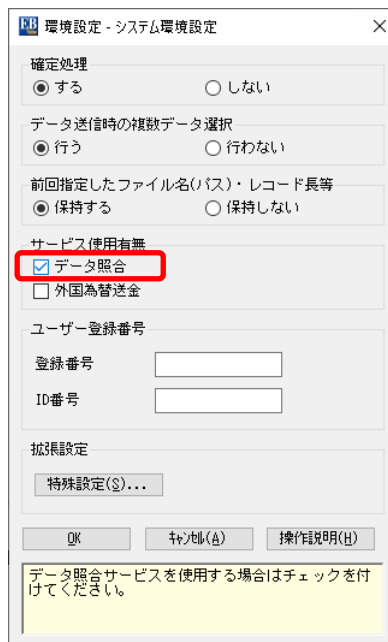
**対
象**

・ OFFICE BANK Value Ver. 2. 61 以降

データ照合の設定方法

(1) システム環境設定を変更

- ① [各種管理]-[環境設定]-[システム環境設定]メニューを開きます。
- ② 「サービス使用有無 - データ照合」にチェックを入れます。



- ③ [OK] ボタンをクリックします。

(2) 利用者にデータ照合の権限を付与

- ① [各種管理]-[機能]-[利用者登録]メニューを開きます。
- ② 管理者に権限を割り当てる場合は[F2 管理者]ボタンをクリックします。
担当者に権限を割り当てる場合は[F8 修正]ボタンをクリックし、
担当者を選択して[OK]ボタンをクリックします。
- ③ 「権限区分」でサービスを選択します。（下図は、総合振込の場合）
- ④ 「権限詳細」から「受付状況照会」をダブルクリックし、「設定」を「×」から「○」に変更します。
「照合データ送信(承認)」「照合データ送信(取消)」も同様に手順を踏みます。

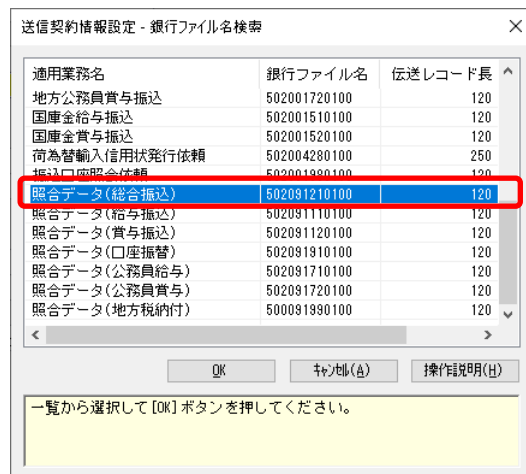
※ データ照合を利用するサービス（総合振込、給与賞与振込など）の数だけ、

③ ～ ④ を繰り返し設定してください。

- ⑤ [登録]ボタンをクリックします。

(3) 送信契約情報を登録

- ① [各種管理]-[環境設定]-[通信環境設定]-[送信契約情報設定]メニューを開きます。
- ② 「契約情報の説明」を入力します。
- ③ 「接続先銀行」で、データ照合を契約した金融機関を選択します。
- ④ 「銀行ファイル名」にカーソルを入れ、[F1 一覧]ボタンをクリックし、表示される適用業務名から「照合データ(〇〇〇〇)」を選択して[OK]ボタンをクリックします。(下図は、総合振込の場合)



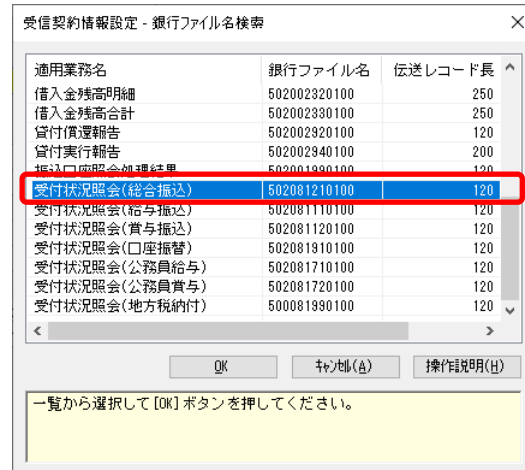
- ※ 個人住民税納付の場合、金融機関によっては、
照合データの銀行ファイル名が一覧にあるものと異なることがあります。
該当する場合は、金融機関に確認した値を「銀行ファイル名」に手入力します。

- ⑤ 外部データ処理でデータ照合を行う場合は、「外部データ処理 - 照合データ送信」にチェックを入れます。

- ⑥ 「パスワード」「ファイルアクセスキー」「照合識別コード」は、
入力しておくで通信を行う際の入力が省略できます。省略する場合はここで入力します。
- ⑦ 金融機関から指示があった場合は「圧縮の使用」「ブロック指定」を変更します。
指示がない場合は初期値のままで問題ありません。
- ⑧ 「伝送ファイル形式」は「固定長形式」のままで、[登録]ボタンをクリックします。
- ※ データ照合を利用するサービス（総合振込、給与振込など）の数だけ、
② ～ ⑧ を繰り返し設定してください。

(4) 受信契約情報を登録

- ① [各種管理]-[環境設定]-[通信環境設定]-[受信契約情報設定]メニューを開きます。
- ② 「契約情報の説明」を入力します。
- ③ 「接続先銀行」で、データ照合を契約した金融機関を選択します。
- ④ 「銀行ファイル名」にカーソルを入れ、[F1 一覧]ボタンをクリックし、表示される適用業務名から「受付状況照会(〇〇〇〇)」を選択して[OK]ボタンをクリックします。(下図は、総合振込の場合)



- ※ 個人住民税納付の場合、金融機関によっては、
 受付状況照会の銀行ファイル名が一覧にあるものと異なることがあります。
 該当する場合は、金融機関に確認した値を「銀行ファイル名」に手入力します。

- ⑤ 外部データ処理でデータ照合を行う場合は、「外部データ処理 - 受付状況照会」にチェックを入れます。

- ⑥ 「パスワード」「ファイルアクセスキー」は、
入力しておくで通信を行う際の入力が省略できます。省略する場合はここで入力します。
- ⑦ 金融機関から指示があった場合は「圧縮の使用」「ブロッキング指定」を変更します。
指示がない場合は初期値のままで問題ありません。
- ⑧ 「伝送ファイル形式」は「固定長形式」、「データの取組方法」は「前回分累積」のままで、
[登録]ボタンをクリックします。
- ※ データ照合を利用するサービス（総合振込、給与振込など）の数だけ、
② ～ ⑧ を繰り返し設定してください。

以上